

開町400年彩る新品種

オレンジ色のユリ咲き

記念チュールリップ提案

高岡戸出の生産部会 来春、イベント展示

高岡市の戸出町チュールリップ切花生産部会は二十五日、来年の高岡開町四百年を記念した新品種を発表した。市に名称を選定してもらい、来春のイベントで展示する。生産部会では高岡オリジナル品種として紹介し、産地の活性化につなげたい考えだ。



高岡市のホテルニューオータニ高岡で開かれた「第一回チュールリップミニサミット」の席上、生産部会が提案した。

「高岡新聞社後援展」(富山新聞社後援)が開かれた際、会員から開町四百年に合わせ新品種を発表する企画が持ち上がり、候補を検討していた。サミットには生産部会の須田治郎会長、高岡市農協の穴田甚朗組合長のほか、東京、大阪、静岡、広島の花卉市場などの担当者ら約四十人が出席した。担当者は市内のチュールリップ圃場も訪れ、候補品種の説明を受けた。

サミットでは、十二品種が候補として紹介された。このうち、生産部会が最適としたのは高岡独自の品種「春」の兄弟種で、オレンジ色の「ユリ咲き」となっている。候補の中には来年の開町四百年には数を確保で

高岡開町400年を記念する品種として提案されたチュールリップ

高岡市内のホテル